

## 設置工事説明書

「温泉お風呂」は登録商標です。

型 式	電気保温式	本機の機能が十分に 発揮出来るよう、次の手 順にしたがって正しく設 置してください。
	KN-2400 BS-1	
	KN-2400 BS-2	
	KN-2400 BS-3	

## ご注意



- 事前に設置場所、電源、工事内容について、お客様と打ち合わせの上、決めてください。  
(特に、浴槽・壁に穴をあける、専用の電源が必要になる等の工事内容を詳しく説明してください。)
- 本書の設置条件をはずれた工事が原因で生じた事故や故障は、保証期間内であっても、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 本機の『警告・注意書きラベル』が貼ってあるパネルを正面にくるようにお取り付けください。
- 設置工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認し、お客様に取扱い方法などを「取扱説明書」に沿って説明してください。
- 取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いいただくようお客様にお伝えください。
- この設置工事説明書は、「取扱説明書」、「保証書」と共に、工事完了後に必ずお客様にお渡しください。

## もくじ

1. 安全上・設置上のご注意	……1
2. 梱包明細一覧表	……4
3. 設置工事に必要な工具・部材	……5
4. 外形寸法図	……6
5. 標準施工例	……7
6. 本機設置位置・設置条件	……8
7. 風呂開口	……9
8. 壁開口	……9
9. 配管	……10
10. 電源スイッチ・コントローラーの取付け	……12
11. ケーブル接続	……14
12. 接地(アース)の接続	……14
13. 電源の接続	……15
14. 設置工事後の点検確認	……15
15. 試運転(運転)・点検確認	……15
16. 配管の保温	……16
17. 化粧フタの取付け	……16
18. 工事完了時のお願い	……16
19. お問い合わせ先	……16

# 1. 安全上・設置工事上のご注意

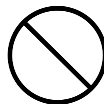
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 安全に使用していただくため、下記のことを必ずお守りください。
- これらの注意事項は安全に関する重大な内容です。表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをした場合、使用者が傷害を負う危険が想定される、または物的損傷のみの発生が想定されるもの。

絵表示については次のような意味があります。



一般的な注意



一般的な禁止



分解禁止



必ず行うこと



必ずアース線を  
接続すること



火気禁止



接触禁止

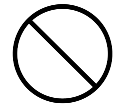
ここに表示した注意事項は、誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に **警告** と表示しています。しかし、**注意** を表示した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- 設置工事完了後に試運転を行い、異常がないことを確認し、お客様に「取扱説明書」に沿って『安全上のご注意』等の注意事項から操作方法などを必ず説明してください。
- この「設置工事説明書」は「取扱説明書」、「保証書」と共に、お客様がいつでも見られる場所に保管していただくよう依頼し、お渡してください。
- 正しい設置及び正しく使用されなかった場合の、製品の故障、事故、能力障害及び凍結事故については、当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

# 1. 安全上・設置工事上のご注意

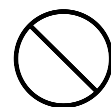
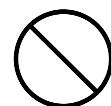
## 警告

- 1. 設置は、この設置工事説明書にしたがって確実に行ってください。**  
設置が不完全な場合、感電、火災、転倒落下によるケガ、水漏れの原因となります。
- 2. 電気工事が必要な場合は、お買い上の販売店、または専門業者に依頼してください。**  
配線等に不備がある場合、漏電や火災の原因となります。
- 3. 設置は、本製品重量に十分耐えられる場所に、説明書通りに確実に行ってください。**  
設置に不備がある場合、転倒落下によるケガ、水漏れの原因となります。
- 4. 本機の分解や改造を行わないでください。**  
ショート、感電、火災、水漏れ、故障の原因となります。
- 5. アース工事は電気工事士に依頼し、第3種接地工事を行ってください。**  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース等に接続しないでください。  
また、アース線を外した状態での運転はしないでください。  
アースが不完全な場合、感電の原因となります。
- 6. 可燃性のガスが溜まる恐れのある場所への設置はしないでください。**  
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、発火の原因となる恐れがあります。
- 7. 本機の電機部品には、水をかけたり、手を触れないでください。**  
感電、ヤケド、ケガ、故障の原因となります。
- 8. 機種により入力電源が異なりますので、よく確認の上しっかり接続してください。**  
感電、火災、ヤケド、故障などの原因となります。
- 9. 設置後お客様に取扱い説明書にそって、注意事項と扱い方を説明してください。**
- 10. 設置後は必ず試運転を行い、正常に運転が出来ることを確認してください。**
- 11. 設置後すぐに使用されない場合は、漏電遮断器(漏電ブレーカー)をOFF(切)にし、本機、配管及び浴槽の水を抜いてください。**
- 12. 屋内への設置はしないでください。やむを得ず設置する場合は、防水パンを取り付けるなどの防水対策を行ってください。**  
水漏れの場合、家財を傷めるなどの原因になります。



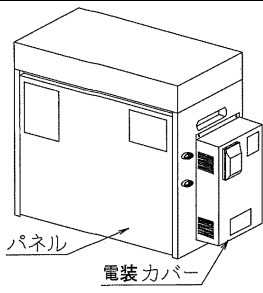
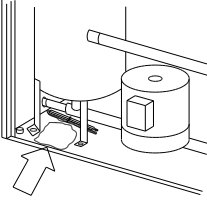
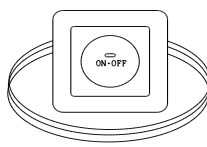
## ⚠ 注意

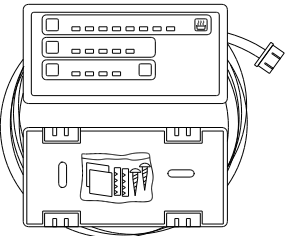
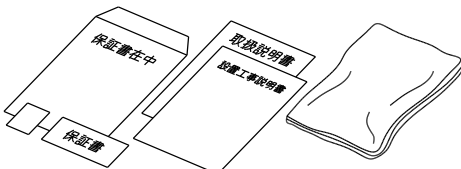
- 1. 使用する浴槽、その周辺の材質やメッキが変色したり、ハクリすることがありますので、材質をよく確認してください。**  
浴槽は24時間風呂対応のものを使用してください。  
24時間風呂対応以外の浴槽を使用すると、変形、変色などが起こる恐れがあります。不明な点は販売店、メーカーにご相談ください。
- 2. 電源ケーブルの被覆を傷つけるような扱いはしないでください。**  
ケーブルに傷がつくと、漏電、感電、火災の原因となります。
- 3. 機器につけるパッキン、シール材は確実に施工してください。**  
シール材には、樹脂・金属を侵食するものを使用しないでください。  
漏水、故障の原因となります。
- 4. 電源は、専用の屋外防雨コンセントを使用してください。**  
電源の容量は、100V・20A以上のものを使用してください。  
また、三相電源の機種をお使いの時は、電気工事士に電源の接続など依頼してください。  
火災、故障、漏電遮断機の誤作動などの原因となります。
- 5. 電源ケーブル、その他配線の切断、延長はしないでください。**  
また、他の器具とのタコ足配線はしないでください。  
感電、火災、発熱などの原因となります。
- 6. 凍結の恐れのある地域では、凍結防止対策を行ってください。**  
また、排水工事は確実に排水出来るように施工してください。  
排水溜まりが出来る場所にはドレーンを設けてください。  
万一凍結したときに、破損、故障、漏水などの原因となります。
- 7. 本機設置後は、デラックスカバーを掛けてください。**  
本機は、完全防水ではありませんので、事故・故障の原因となります。
- 8. 温泉水など、水道水以外のご使用はできません。**  
詳細につきましては、係員にご相談ください。



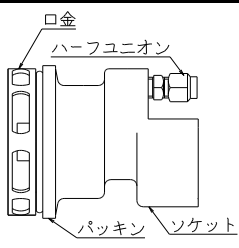
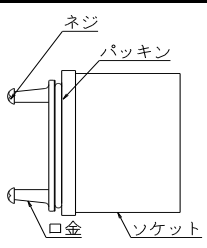
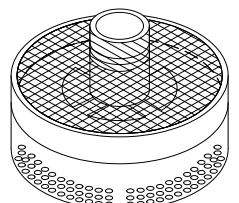
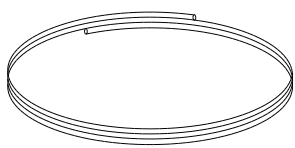
## 2. 梱包明細一覧表 (開梱時に必ず確認してください)

### 本機セット

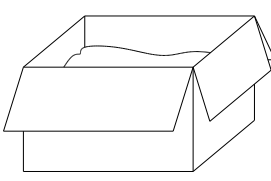
本体(1台)	アース棒(1本)	ドレーンセット	電源スイッチ
	<p>本体中のタンク脚に固定 (パネルを開けて取り出す)</p> 	同左	 <p>・電源スイッチ 本体電装カバー横</p>

コントローラー(1セット)	保証書在中封筒(中身は下記に記入)
 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コントローラー (コード7.5m付)</li> <li>・コントローラー座</li> <li>・カールプラグ 2個</li> <li>・木ネジ 2個</li> <li>・両面テープ 2枚</li> </ul>	<p>本体フタの上に貼付</p>  <p>保証書在中封筒 1枚 保証書 1部 取扱説明書 1部 設置工事説明書 1部 デラックスカバー 1枚 吐出口注意シール1枚</p>

### 部品箱セット

<p>吐出金具セット組品(1個)</p> 	<p>吸込金具セット(1個)</p> 
<p>吸込金具用アダプター(1個)</p> 	<p>ステンスパイプ(3m)</p> 

### ろ材

<p>麦飯石(1袋)</p>  <p>17kg</p>
--

### 3. 設置工事に必要な工具・部材（現場調達品）

- 設置工事には次の工具・部材が必要ですので、あらかじめご用意ください。
- 現場によっては、記載にない工具・材料が必要になる場合があります。
- 配管材料及び工事材料は、別売りとなっています。工事材料は必要量を事前に準備してください。

#### 工事工具

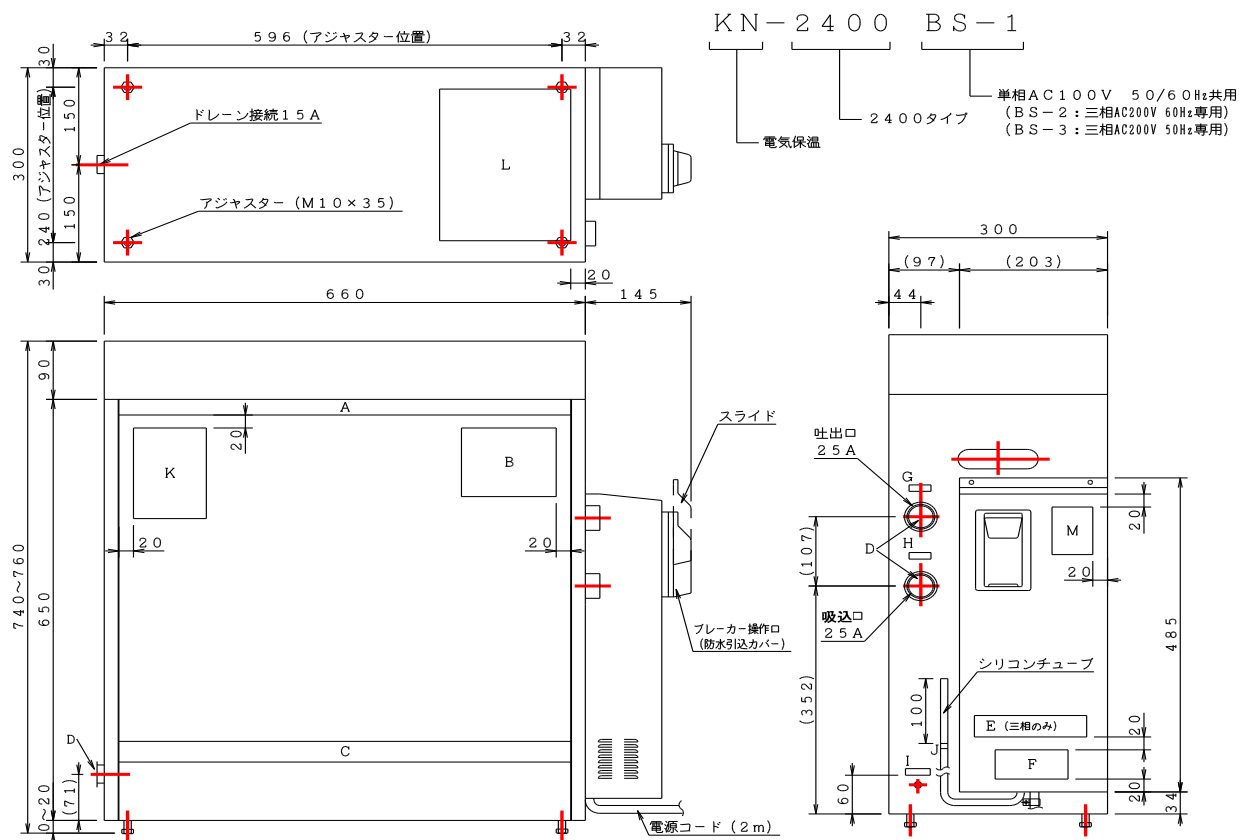
工 具 名	用 途
HTパイプカッター	HTパイプのカット
水平器	装置を水平に設置するのに使用
リーマ(φ30~50)	カットした配管のバリ取りなど
パイプレンチ	配管の締め付け(緩め)
モンキースパナ	配管の締め付け(緩め)
パイプカッター	エアー配管(ステンレスパイプ)のカット
ウォーターポンププライヤー	
コンベックススケール	
電気ドリル	
カッターナイフ	
コーキングガン・コーキング剤	穴開け後のシールなど
ドライバー(+・-)	
ホールコア(ダイヤモンド・コア)	浴槽、コンクリート壁の穴開けなど

#### 配管部材・その他

配 管 材 料	用 途
HT配管パイプ(25A)	配管
HTボールバルブ(25A)	配管
HTバルブソケット(25A)	配管
HTエルボ(25A)	配管
耐熱接着剤No. 100	HT配管の接着
保温材(25A用)	HT配管の保温用
キャンバステープ	保温材巻き付け
シールテープ・シール剤	配管のシール
コンクリートブロック	装置の置台

# 4. 外形寸法図

## 型式の説明

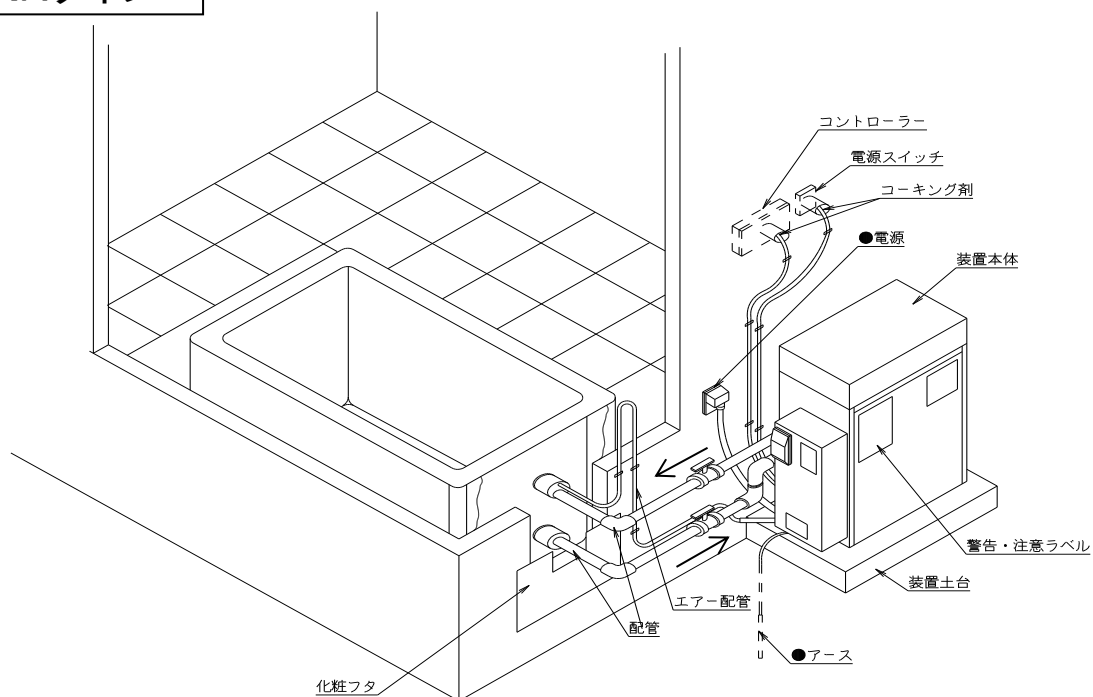


## お客様にお伝えください

- 保温のため風呂フタをお使いください。
- 騒音値は50dB(A)以下としていますが、設置場所によっては隣家から苦情が出る恐れがあります。  
『装置を設置することで、運転音が聞こえる場合がある』ことを、事前にお伝えください。
- 本機は、フィルター・ろ材の洗浄、交換を定期的に行う必要があります。また、装置の性能維持のため、フィルター・ろ材の他に消耗部品の交換(有料)が発生します。  
※これらの定期点検をする『保守契約制度』がありますので、くわしくは販売店にお尋ねください。
- 浴槽の水際や風呂フタなどに汚れが付着する場合がありますが、これは浴水の蒸発物、ゴミ、ホコリによるものです。放置しますと落ちにくくなりますので、こまめに拭き流してください。
- 設置初期2週間程度白濁することがありますが、この間も使用し、運転を停止しないでください。  
水質が安定すれば解消します。白濁が気になる様でしたらお風呂の湯を半分程度交換してください。  
(排水をしながら給湯を行ってください。)
- 夏期など本機周囲温度が30℃を越えるような場所に設置されている場合は、保温設定温度をこえて湯温が上昇することがあります。本体周囲の風通しを良くするか、浴水に水をたして湯温を調整してください。

## 5. 標準施工例

### KNタイプ



- 給水配管・給湯配管工事が必要な場合は専門業者に施工を依頼してください。
- 電源の工事、アース(接地)は専門業者に接続を依頼してください。  
(電源工事とは、電線からコンセントまでの配線を示すものです。)



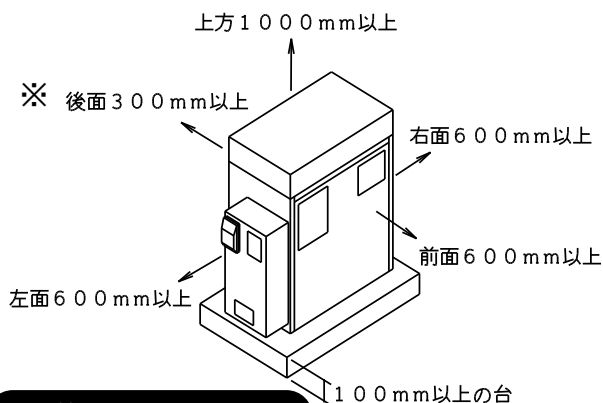
# 6. 本機設置位置・設置条件

## お願い

- 設置位置は、必ずお客様と相談して決めてください。
- 可燃性ガスの溜まる恐れのある場所、臭いや腐食性ガスの発生する場所、湿気の多い場所は避けてください。
- 本機の設置運転時重量は約95kgですので、この重量に十分耐えられる場所や造営物に、水平に設置してください。
- 本機の性能維持のため直射日光、雨、雪、潮風の当たる場所では囲いや屋根を設けてください。  
※本機の梱包材を使用して、本機の囲いをするのは止めてください。
- やむを得ず屋内に設置する場合は、浸水、漏水被害防止のために防水パンを設置し、排水工事を行い本機を設置してください。
- 本機は周囲より100mm以上高くするコンクリート打ち台または軽量ブロックを用意し、その上に平行に設置してください。  
※軽量ブロックを使用する場合は、地面を転圧機で十分固めてください。

## 設置条件

- 本機の点検、修理を出来るよう、下図を参考に十分なスペースを確保してください。



※ヒーターが後面(壁面)になる時は後面を300mm以上あけてください。

※スペースを確保しないとメンテナンスが行えなかったり、メンテナンスに手間がかかってしまいます。

## 配管の長さについて

配管の長さは 片側7m 4曲がりまで

※配管は出来るだけ短くしてください。

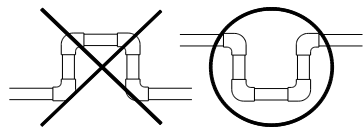
長い配管は流量が低下する原因になりますので注意してください。

高さ方向 右図参照

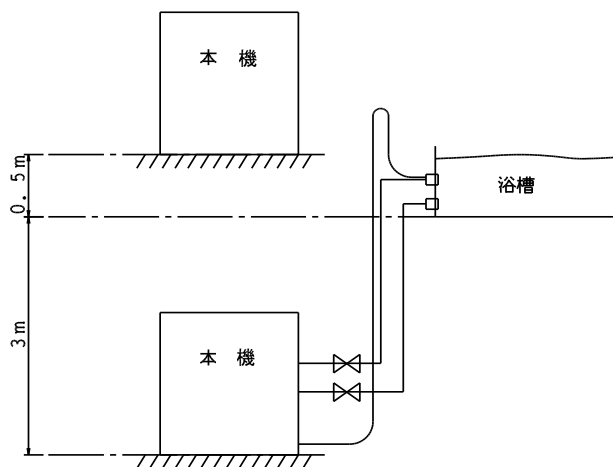
※トリレ配管は絶対にしないでください。

空気溜まりができ、運転出来なくなります。

(U字配管はOKです。)



※配管には、配管内の水が抜けるようドレーンを設けること。

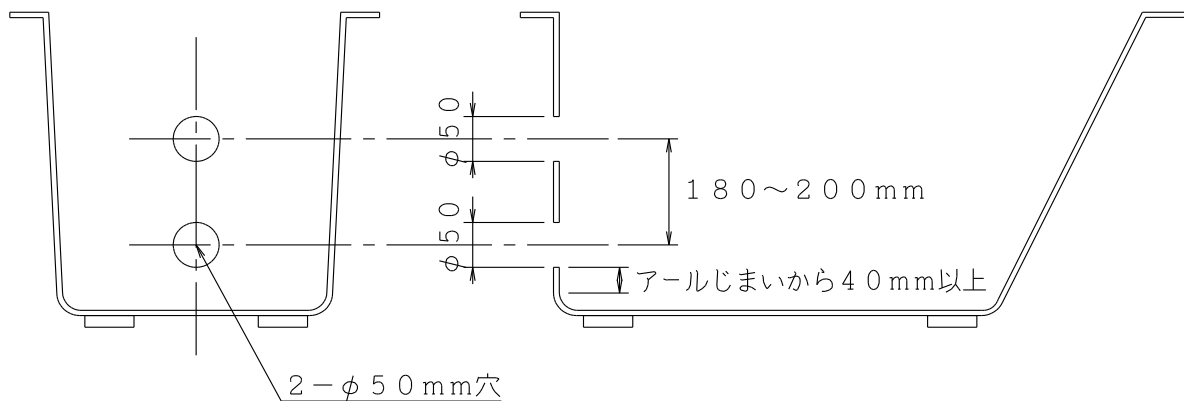


## 7. 風呂開口

### お願い

- 浴槽に穴を開ける場合、事前に説明し、お客様の了承を得てから穴を開けてください。
- 浴槽に傷がつかないように、毛布などで養生してください。
- 浴槽に工事説明書があるものは、説明書にしたがって開口してください。  
説明書がない浴槽は、開口部に亀裂、バリの出ないように、穴径より広くゴムテープなどを貼り、養生してください。  
浴槽によっては補強リブの入っているものがあります。開口位置をメーカーに確認してください。  
ください。
- 開口部は、周囲が平滑で浴槽金具のパッキンでシール出来る面を選んでください。
- 浴槽材質により、防錆処理、防水処理をし、シリコンシール剤を塗布し浴槽金具を取り付けてください。
- 浴槽外壁、開口周囲に防音材や保温材のあるものは開口周囲φ80mm内をはぎ取り平滑にしてください。
- 開口面は浴槽の垂直面にしてください。

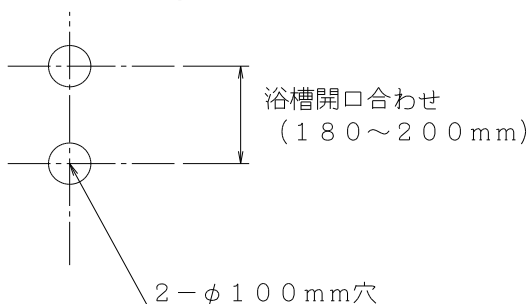
### 標準開口 2穴



## 8. 壁開口

### お願い

- 壁、躯体にキズがつかないようにゴムテープ等を貼り、養生してください。
- 位置は風呂開口部の直近とし、ガス、水道、電話、電線等がない場所にし、後に点検口として利用出来るように配慮してください。
- 住宅の構造に影響のない場所にしてください。

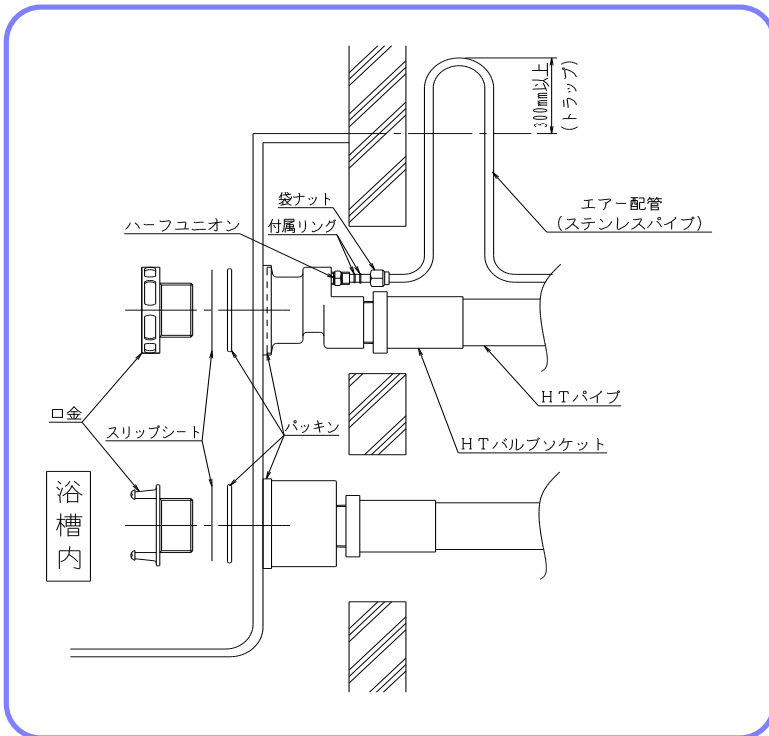


# 9. 配管

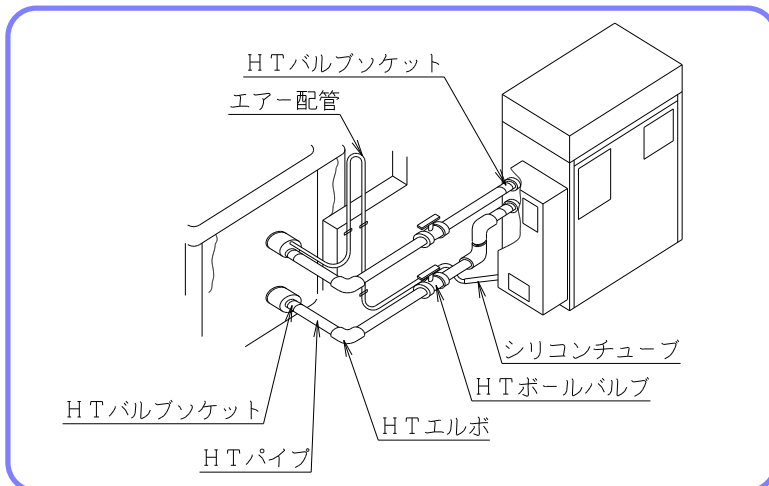
## お願い

- 吐出金具、吸込金具、吸込金具用ストレーナー、ステンレスパイプ以外は、付属されていません。あらかじめ手配しておいてください。
- ボールバルブは本体に近い位置に取り付けてください。
- 配管部材はエスロンHTまたは、ステンレス(SUS304)配管としてください。また、HT接合剤は耐熱接着剤No. 100を使用してください。  
(ステンレス配管の場合には、シールテープ・シール剤を使用してください。また、本機とボールバルブの間に必ずユニオン等を付けること。)(メンテナンスに必要ですので必ずつけてください。)
- 配管接続は本機に表示の「吸込口」「吐出口」「エアー接続口」に併せて接続してください。  
(吸込口と吸込金具、吐出口と吐出金具、エアー接続口とエアー配管とを接続する。)
- 配管長さが片側1.5m以上になるときは配管支持金具で配管を固定してください。
- U字配管のある場合は、配管の一番低い位置にドレーンを設けてください。
- 寒冷地では、凍結防止に凍結防止帯を配管に装備してください。
- 埋設配管はしないでください。

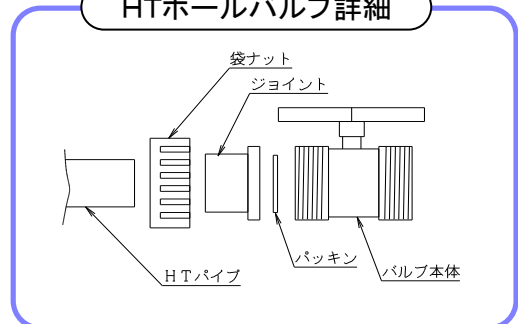
## 配管参考例



- 配管ネジ部は全てシールテープを巻いてください。(口金は除く)
- エアー配管のステンレスパイプは必ずトラップを作ってください。高さは浴槽の縁から300mm以上とってください。トラップは浴槽に最も近い位置に作ってください。
- ステンレスパイプは本機の「エアー接続口」シールが付いているシリコンチューブに、2cm以上差し込んでバンドクリップで止めてください。
- ハーフユニオンと袋ナットの締め付けは、両側にスパナをそれぞれかけて行ってください。



## HTボールバルブ詳細



- HTパイプとジョイントを接着する際、袋ナットを必ず入れてください。(向きに注意してください。)
- バルブ本体と袋ナットを締める際、パッキンが付いていることを確認してください。

## 9. 配管

**[注意]** 吸込金具用アダプターは必ず取付けてください。

取付に不備がありますと事故の原因となります。

### 吸込金具用アダプターの取付手順

始めに部品がそろっているかご確認ください。

部品はカバー、フィルター、本体、スポンジフィルターの4点です。

1. 吸込金具口金についているトラスネジを取り外してください。

**[注意]** ネジの紛失にご注意ください。

2. 本体を吸込金具口金に差し込んでください。

スポンジフィルターが、本体に取り付けられていることを確認ください。

3. フィルターのきれいな面を表側にして本体にはめ込み、取付け

穴を合わせて吸込金具口金にネジで取付けてください。

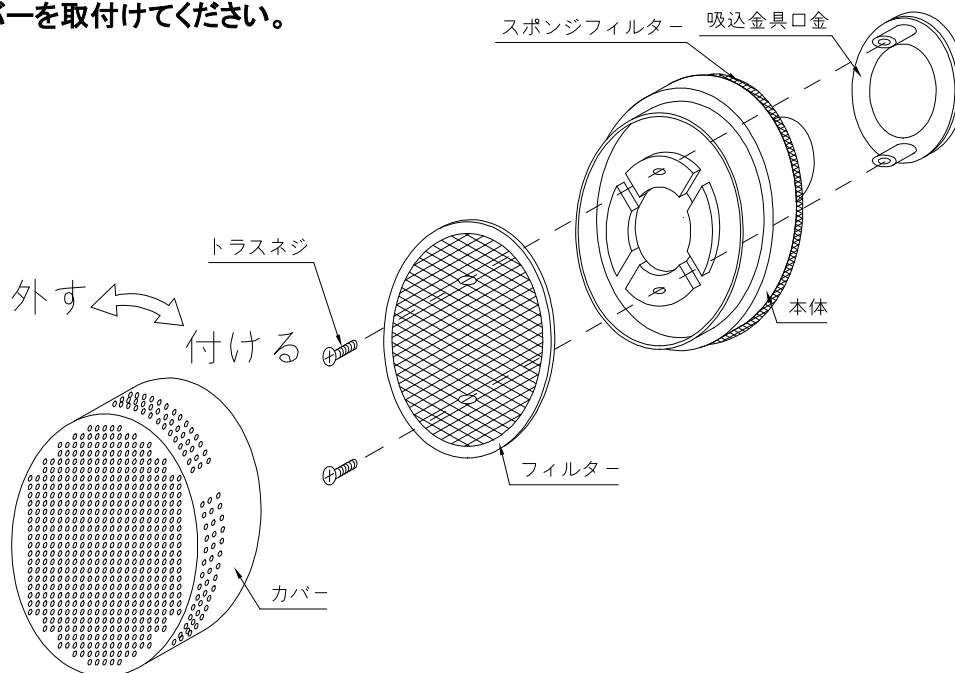
**[注意]** ネジの締付けは確実に行ってください。

ただしネジに締めすぎは破損の原因となりますので

ご注意ください。

4. 緩み、ガタツキがないか確認してください。

5. カバーを取付けてください。



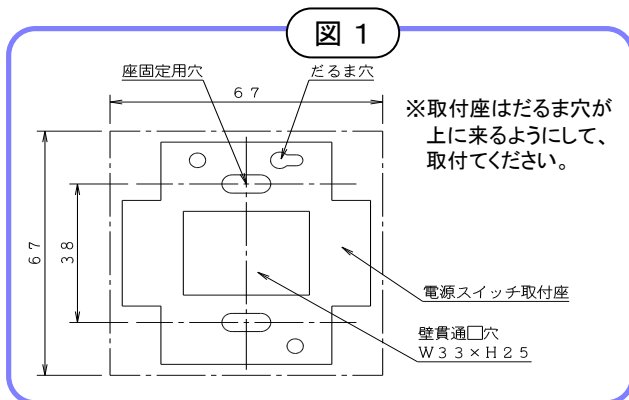
# 10. 電源スイッチ・コントローラーの取付け

## お願い

- 標準の電源スイッチ・コントローラーケーブルは7.5mですが、別売の延長ケーブル(7.5m)により最長15mまで延長可能です。(15m以上の延長は絶対にしないでください。)
- 取付位置はお客様と相談の上、決めてください。
- 電源スイッチ・コントローラーとの取り合いがごさいますので、必ずご確認ください。
- 穴をあける場所に電線や配管などが無いことを必ず確認してください。
- 防水タイプではありますが、直接湯水のかかる場所には絶対取り付けないでください。(完全防水ではありません。)
- 近くに電気用品の技術基準に定める雑音の強さ以上の雑音源(障害電波、強磁界、高周波パルス、無線局など)のある場所には取り付けないでください。(誤作動、作動不良の原因となります。)
- ケーブルの接続はコネクタで行ってください。また、ケーブルを切断または強く引っ張らないでください。
- ケーブルのコネクタはガイドを合わせて、正しく差し込んでください。
- 防水処理は確実に行ってください。

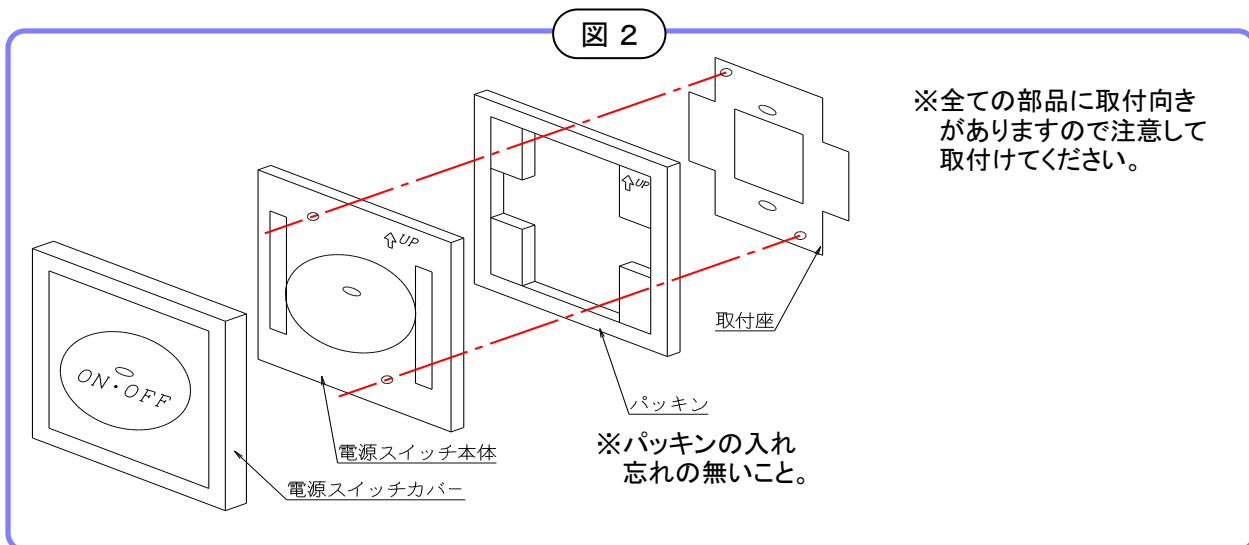
### 電源スイッチ標準取付方法

1. 電源スイッチの取付位置を決めて、口穴をあける。(W33×H25)
2. 電源スイッチ取付座を付属ネジにて取付ける。(図1参照)  
※壁がコンクリートの場合はビス穴にφ6mmの穴をあけ、付属のカーブプラグを打ち込む。
3. 付属のネジで電源スイッチ本体を取付座に取付ける。 ※パッキンを必ずはさむこと。(図2参照)
4. 電源スイッチカバーを取付ける。



※電源スイッチ・コントローラーを、ユニットバスや薄い壁に取り付ける場合は裏面に木枠などの補強を行ってください。

※上記以外の場所でも水が侵入しそうな場所がある場合には、コーキングなどの防水処理を行ってください。

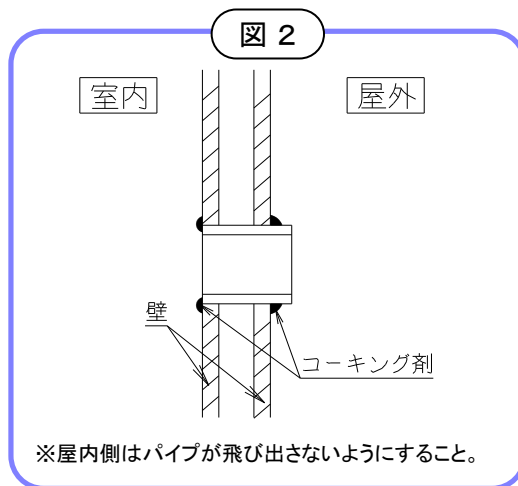
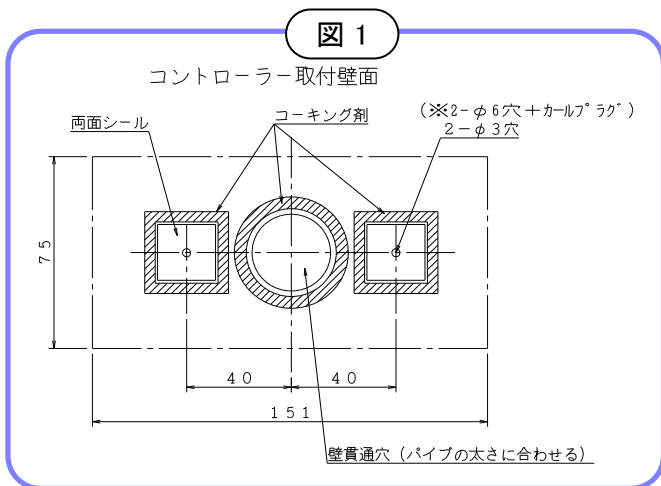


# 10. 電源スイッチ・コントローラーの取付け

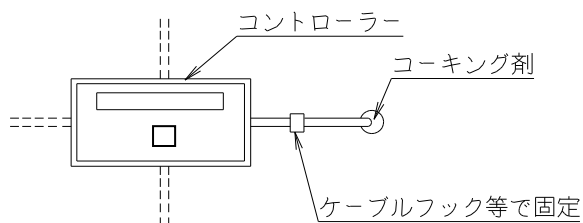
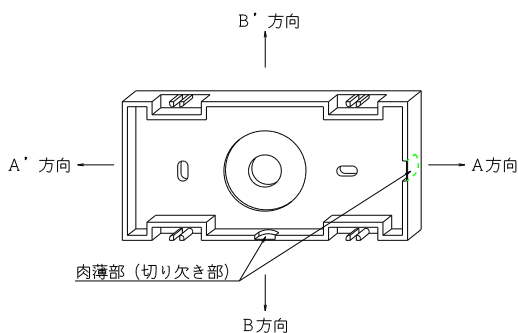
## コントローラー標準取付方法

1. コントローラーの取付位置を決めて、所定の位置に穴をあける。(図1参照)  
 ※保護用パイプは樹脂パイプを使用すること。また、コネクターが通ることをご確認ください。  
 ※壁がコンクリートの場合はビス穴にφ6mmの穴をあけ、付属のカールプラグを打ち込む。
2. 保護用パイプを穴に通して、コーキングで防水をする。(図2参照)
3. 壁の所定の位置に両面シールを貼ってコーキング剤を塗り、コントローラー座を貼り付ける。(図1参照)
4. 付属のビスでコントローラー座を固定してから、中央の穴にコントローラーケーブルを通して外に引き出す。
5. コントローラーをコントローラー座に取り付けます。(ワンタッチ脱着式です。)

※コントローラーを、ユニットバスや薄い壁に取り付ける場合は、裏面に木棧などの補強を行ってください。  
 ※上記以外の場所でも水が侵入しそうな場所がある場合には、コーキングなどの防水処理を行ってください。



- ケーブルを上下左右に出す場合は右図と下図を参考にしてください。



※防水処理(コーキング等)は確実に行ってください。

- コントローラー座の肉薄部の希望箇所を切り欠き、切り欠き部を通してケーブルを引き出す。  
 上・左にケーブルを引き出す場合は、コントローラー座を回転させて使用してください。
- 基本的な取付方法は標準取付方法を参照してください。

# 11. ケーブル接続

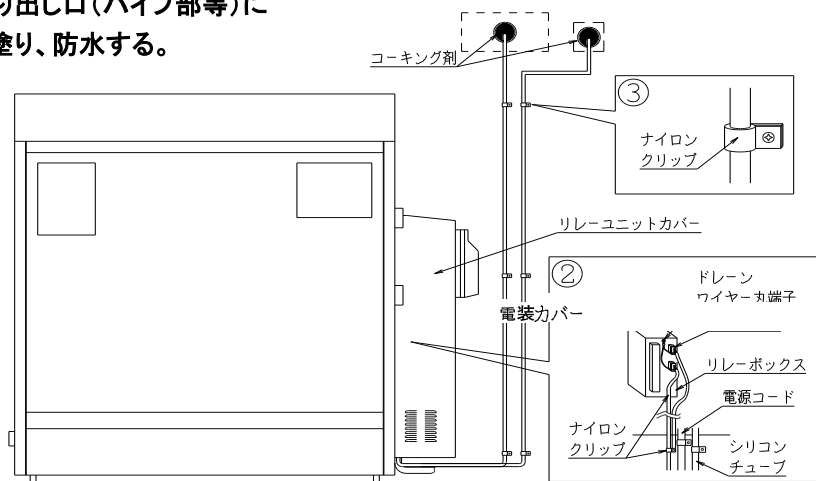
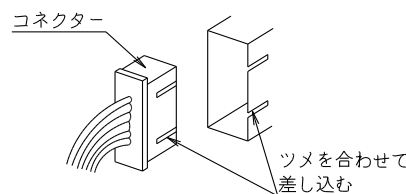
## お願い

- ケーブルを切断しないでください。また、強く引っ張ったりしないでください。  
(延長は別売の延長ケーブルを使用すること。延長ケーブルの接続は延長ケーブル同封のマニュアルをご覧ください。)
- ケーブルはナイロンクリップなどを使用して壁面に固定してください。

## 接続方法

- ① 電装カバーを取り外す。
- ② ケーブルのコンネクター(オス)をリレーボックスのコンネクター(メス)にしっかりと差し込み(向きをよく確認すること)。  
(電源スイッチは4芯のコンネクター・コントローラーは6芯のコンネクターです。)  
※コンネクターは2個必ず接続して下さい。  
ドレーンワイヤー丸端子をネジで止める。  
(ネジ止め位置はリレーボックスの側面です。)
- ③ ケーブルをナイロンクリップで固定する。
- ④ 電装カバーを取り付ける。
- ⑤ ケーブルの取り出し口(パイプ部等)にコーキング剤塗り、防水する。

※コンネクターがしっかりとハマっていないと  
運転や、設定が出来なくなりますので  
確実にはめ込んでください。  
(電源スイッチ・コントローラーの2個です)

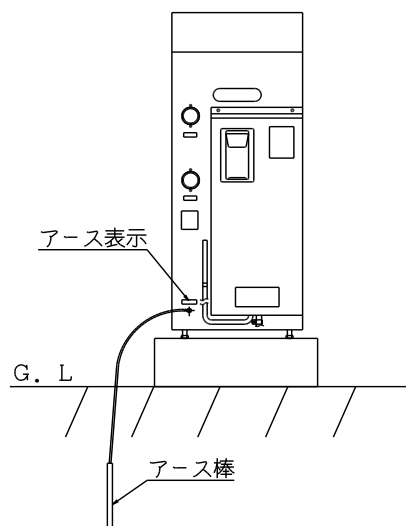


# 12. 接地(アース)の接続

## お願い

- 電気設備に関する技術基準定める省令(省令第10条及び省令第11条)によるD種接地工事(旧第三種接地工事)を、電気工事士の方に依頼してください。
- 1. 本機内部に収納されているアース棒を取り出し乾燥しにくい地下に75cm以上埋設してください。
- 2. 500V絶縁抵抗計により接地抵抗が100Ω以下であることを確認します。
- 3. 本機の「アース」表示部にアース線を接続します。

■アースネジとアース棒との間に500V絶縁抵抗計を接続し、測定した値は100Ω以下(本機では500Ω以下)であること。



## 13. 電源の接続

### お願い

- 電源コード接続前に本機の漏電ブレーカーが「OFF」になっているか確認してください。
- 電源コードは切ったり、延長したりしないでください。  
また、コードの外被がキズ付いたり、つぶれたりするような使い方はしないでください。
- 専用コンセント(回路容量20A以上)が、電源コード(2m)の届く範囲に必要です。他の器具とのタコ足配線は絶対にしないでください。  
BS-2・3(200V)は、電気工事士に配線を依頼してください。
- コンセントとプラグの接続は、手にプラグを持って、コンセントが緩まないようにしっかり奥まで差し込んでください。また、コンセントにロックが付いているものはロックを必ずしてください。

## 14. 設置工事後の点検確認

### お願い

#### ■試運転前確認事項

- ★アースの接続しっかりされていますか？ (14P参照)
- ★電源(コンセントまで)の通電はありますか？ (15P参照)
- ★電源スイッチ・コントローラーの接続しっかりされていますか？ (12～14P参照)
- ★吐出・吸込金具の付け間違いなどないですか？ (9～11P参照)
- ★配管はしっかりしてありますか？ (10・11P参照)  
(配管の締め忘れ、パッキンの入れ忘れ、接着忘れなどありませんか？)

## 15. 試運転(運転)・点検確認

### お願い

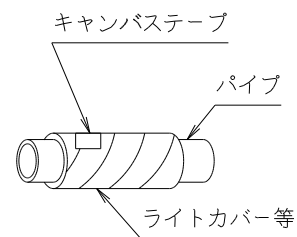
- 下記の順番で試運転・点検を行ってください。
- 1. 運転前の準備を行います。  
作業手順は「運転前の準備」(本機の取扱い説明書)をお読みください。
- 2. 試運転を行います。  
作業手順は「運転方法」(本機の取扱い説明書)をお読みください。
- 3. 浴槽内に勢いよく湯が循環しているのを確認します。
- 4. 下記の項目の点検を行います。
  - ★配管接続部、浴槽開口部付近、本体内配管などに水漏れはありませんか？
  - ★オゾン(気泡)が出ますか？ (手順は本機取扱説明書をお読みください。)  
気泡は勢いよく出ていますか？  
オゾンの臭いがしますか？ (嗅ぎすぎに注意してください。)
  - ★保温は正常に行えますか？  
KNタイプ : ヒーター通電確認をする。(本機取扱説明書をお読みください。)  
給湯器で追焚きされている場合は、給湯器の説明書をお読みください。
  - ★本機から変な音はしていませんか？
- 5. 確認終了後フタをして本機に外装カバーをしてください。  
※お客様がすぐにお使いにならない場合は、コンセントを抜き(BS-2・3は電源を切る)浴槽、本機、配管の湯を全て排水してください。給湯器の追焚きを使用されている場合は、給湯器の取扱説明書に従い給湯器の処置も行ってください。



## 16. 配管の保温

### お願い

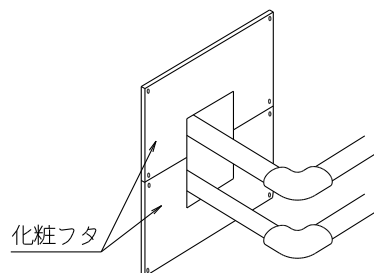
- 寒冷地では、工事前に凍結防止帯を装備してください。
- 凍結による損害・故障については、当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
  1. 保温材(ライトカバー等)・キャンバステープを用意する。
  2. 配管に合わせて、保温材を装着する。
  3. キャンバステープで巻き上げ、化粧する。



## 17. 化粧フタの取付け

### お願い

- 壁開口部は点検口として利用出来るように化粧フタをしてください。
- ※化粧フタは現地で調達してください。



## 18. 工事完了時のお願い

### お願い

- この『設置工事説明書』、『取扱説明書』、『保証書』は必要な時にいつでも見られる場所に保管していただくよう伝え、お客様にお渡しください。
- 保証書には、記入箇所に必要事項を明記してください。
- 6ページの「お客様にお伝えください」の事項を、必ずお伝えください。





# 株式会社 矢島

(営業所・サービス窓口)

[注] 温泉お風呂に関するお問い合わせは以下の窓口へご連絡ください。

---

ヤマ温泉お風呂(株) 東京都世田谷区砧7-4-11

〒157-0073

TEL 03-3749-3604